

昭和中学校区 カリキュラムマップ

目指す児童生徒像

- 基礎的・基本的な知識や技能が身に付いている児童生徒
- 自分の思いや考えを自分の言葉で分かりやすく伝える児童生徒
- 相手の考えを受け止め、相手を理解してかかわる児童生徒
- 課題意識をもち、自ら課題を解決しようとする児童生徒

1 「育成を目指す資質・能力」の具体の姿

	知識・技能	表現力	コミュニケーション能力	主体性・積極性
後期	基礎的・基本的な知識や技能を身に付けている	根拠をもとに、簡潔・明瞭・的確に表現することができる	相手の立場や考えを尊重しながら、自分の考えを伝えることができる	課題意識をもち、見通しをもって自ら課題を解決しようとしている
中期		共通点や相違点を考えて、筋道を立てて表現することができる	相手の意図を考えながら、自分の考えを伝えることができる	課題意識をもち、自ら課題を解決しようとしている
前期		自分の思いや考えを、自分の言葉で分かりやすく表現することができる	相手の考えをしっかりと聞きながら、自分の考えを伝えることができる	身近な対象に進んでかかわり、意欲的に学習したり、生活したりしようとしている

2 カリキュラムマップ作成にあたり、発達段階ごとに大切にしたい視点

	大切にしたい視点	総合的な学習の時間、各教科等の特徴的な配列や重視した取組等
後期	地域に貢献する	国語科・英語科では、聞く・書く・話すことを中心とした単元を通して「表現力・コミュニケーション能力」を育成し、総合的な学習の時間において自らの進路を切り開く取組との関連を図った。
中期	地域とつながる	国語科、英語科では自己実現に向けて「主体性・積極性」を育成し、社会科では、地域と連携・協働した学習を通して、「表現力・コミュニケーション能力」と総合的な学習の時間との関連を図った。
前期	地域を知る	国語科では話す・聞くことを中心とした単元を通して「表現力・コミュニケーション能力」の育成、社会科では、地域や郷土についての「知識・技能」の育成を、生活科と総合的な学習の時間に、国語科を中心に伝える活動として、主体的に地域と関わる活動との関連を図った。

3 本中学校区のカリキュラムマップの特徴

生活科・総合的な学習の時間には、縦のつながりを意識して、「キャリア」と「地域」を配列している。さらに、地域と協働して学習に取り組めるように、地域の特色や豊富な人材を生かしながら、意図的・計画的に配列した。

また、各教科との関連の他に、生活科・総合的な学習の時間と道徳科を横断的に関連付けることで、生活科・総合的な学習の時間に学んだことや体験したことを通して、児童・生徒が道徳科において、自分のこととして考えるなかで、道徳的価値の深まりをねらっている。

そして、育成を目指す資質・能力の中でも「表現力・コミュニケーション能力」の育成に重点を置き、国語科を中心として「話すこと・聞くこと」の単元を位置付けている。